

# AA

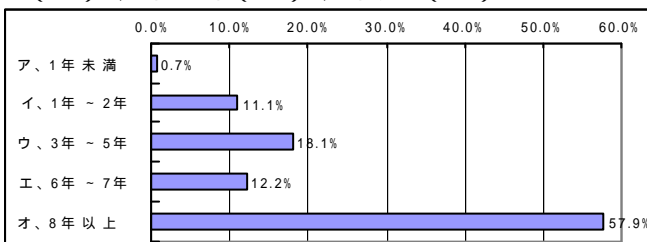
# 日本ニューズレター No.106

## 【メッセージ先の病院での医療関係者へのアンケート集計 / 2003年4~9月実施】

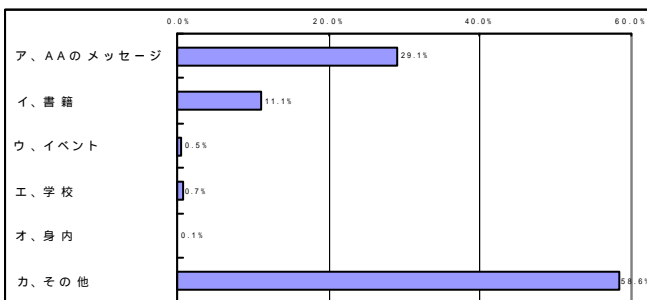
この集計発表は、まだ編集集中のものであることをご確認ください。

アンケート結果 03年10月15日

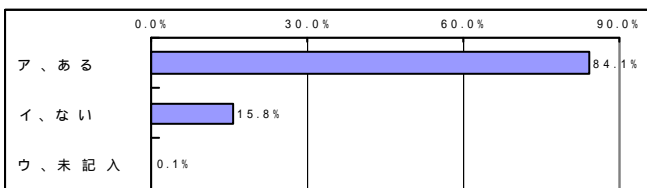
- 1 AAを初めて知られて何年になりますか？  
 ア、1年未満 (0.7)イ、1年~2年 (11.1)ウ、3年~5年 (18.1)エ、6年~7年 (12.2)オ、8年以上 (57.9)



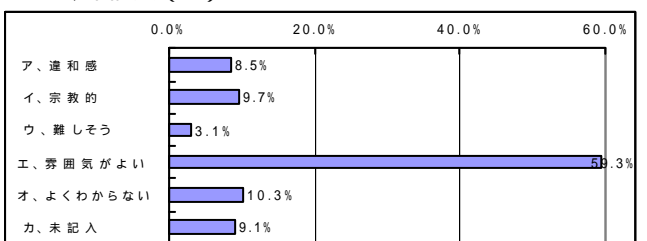
- 2 何によってでしょうか？  
 ア、AAのメッセ - ジ (29.1)イ、書籍 (11.0)ウ、イベント (0.5)  
 エ、学校 (0.7)オ、身内 (0.1)カ、その他 (58.6)



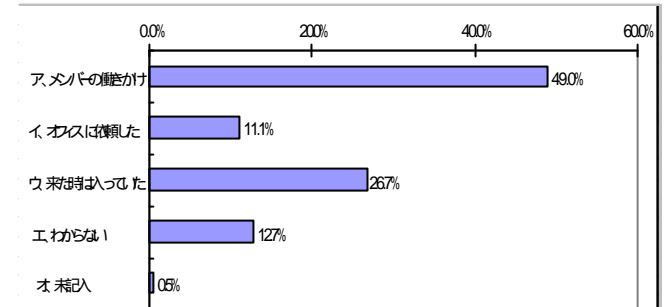
- 3 AAのミーティングに参加されたことはおありでしょうか？  
 ア、ある (84.1)イ、ない (15.8)ウ、未記入 (0.1)



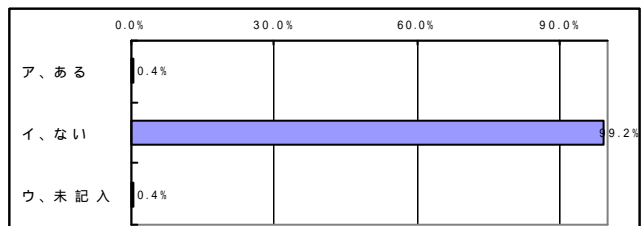
- 4 その時の印象は如何でしたでしょうか？  
 ア、違和感 (8.5)イ、宗教的 (9.7)ウ、難しそう (3.1)  
 エ、雰囲気がい (59.3)オ、よくわからない (10.3)  
 カ、未記入 (9.1)



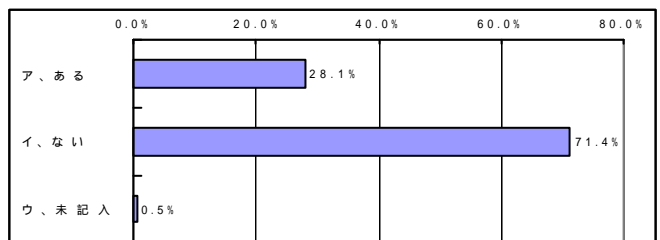
- 5 どのようにして今のメッセージが運ばれるようになりましたか？  
 ア、メンバーの働きかけ (49.0)イ、オフィスに依頼した (11.1)  
 ウ、来た時は入っていた (26.7)エ、わからない (12.7)  
 オ、未記入 (0.5)



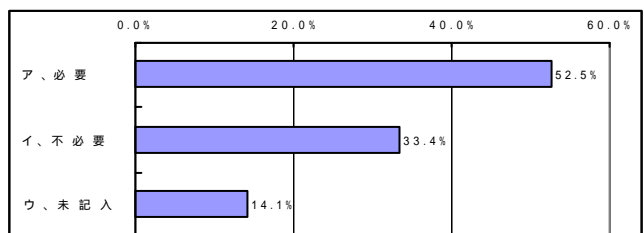
- 6 メッセージの曜日、時間帯について不都合はないですか？  
 ア、ある (0.4)イ、ない (99.2)ウ、未記入 (0.4)



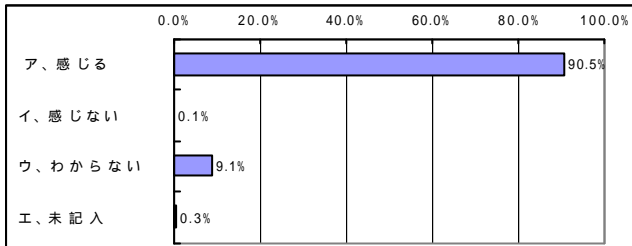
- 7 AAメンバーがよく使う言葉で不可解な言葉はありますか？  
 ア、ある (28.1)イ、ない (71.4)ウ、未記入 (0.5)



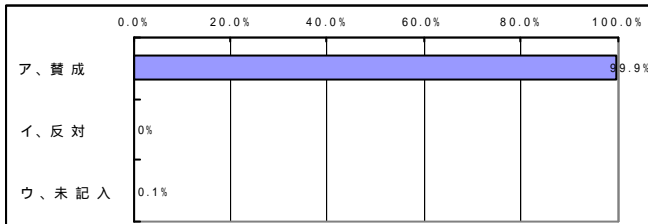
- 8 その言葉の説明は必要ですか？  
 (アノミティ、ハイヤーパワー、ソーバー、スポンサーシップ等)  
 ア、必要 (52.5)イ、不必要 (33.4)ウ、未記入 (14.1)



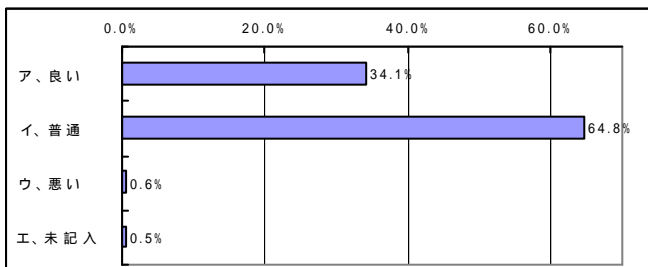
9 AAのメッセージが役に立っていると感じられますか？  
 ア、感じる(90.5)イ、感じない(0.1)ウ、わからない(9.1)  
 エ、未記入(0.3)



10 入院中外部のミーティング参加についてはどのようにお考えですか？  
 ア、賛成(99.9)イ、反対(0)ウ、未記入(0.1)



11 退院後のフォローは如何ですか？  
 ア、良い(34.1)イ、普通(64.8)ウ、悪い(0.6)  
 エ、未記入(0.5)



12 どのような事を望まれますか？  
 別記(1~88)参照

Q.2 何によってでしょうか？  
 カ、その他

1. 久里浜病院研修中
2. 病院例会
3. 外来
4. 職場
5. 専門病棟への異動
6. アルコ-ル依存症の医学教育として
7. 仕事で知った
8. 医師から教えられた

Q.10 入院中外部のミーティング参加についてはどのようにお考えですか？

ア、賛成  
 1. 病院は治療者-患者関係で終わってしまうので外部ではそうでない入院中からそういう横のつながりをもつことが出来るから賛成です

Q.11 退院後のフォローは如何ですか？  
 ア、良い

1. 退院後AAにつながった方に対するフォローは適切で素晴らしいと思います(そう伝え聞いています)それ以外の方については把握できていません

ウ、悪い

1. 自分の意思にまかせてお!又、訪問看護もないため充実不足である

アンケート16通を集計

票回収地区

北海道 15 東北 5 関東 17 中部 0 関西 21  
 中四国 21 九州 87 不明 1

Q.12 どのようなことを望まれますか？

1. AAメンバーからのメッセージ等を入院中の方へ積極的に働きかけをしてほしい。現在では断酒会の方への傾向が強く(病院では)できれば断酒会とAA、両軸で例会、ミーティング等がおこなわれる事を望んでいる
2. 現状通りで良いと思いますが、当院入院の患者さんの中にAAに興味を持たれる方が増えた場合には、メッセージの回数を増やして頂ければと思います。
3. 資金的裏付けはある程度考えた方がいいのかな？
4. いつもご苦労様です。
5. 直接メンバーの人へ情報提供、働きかけをもっと欲しい。
6. その方によります。どんな方向づけが良いのかで決めます。
7. HPへの要望があれば、こちらこそ伺いたい。
8. 退院後のフォローをしていないと感じた場面に出合ったことがない。
9. 入院患者さんとの関わり(ふれあい)を今後も続けて欲しい。
10. メッセージの回数が増えれば有り難いです。病院側の体制としても外部のAAミーティングにもっと入院中の方が参加できるように変えていければと思っています。入院中に種をまいて、それがいつか実を結ばばいいなと思いますが、患者さんの方でなく病院側に責任がある面も多いです。
11. 不安や緊張の面持ちで参加される初期の方々が、取りあえずその時参加して「まあ良かった」と思えるようAAミーティングはこんな形式や雰囲気なんだと知ることが先決なので、その事を配慮して欲しい。
12. 今後とも協力連携を強くし、依存症よりの回復に向けて良い働きかけが出来ればと考えています。なかなか自助グループに繋がりにくい人もおられますが、訪れた折は宜しく願い致します。
13. 今まで同様、メンバーの支えがあって、断酒継続が出来ていることを伝えて欲しい。
14. 日南方面にAAグループがなく、設立を希望します。
15. 言葉の使い方、馴れ合いを感じる時がある。どっかで先生になっていることがあるかな？
16. 送迎関係で、入院患者さんを自助グループへ連れて行ってもらう予定になっていて、その当日に送迎が出来なくなったと言う時など患者さんが困る。
17. メンバーの方が、進んで参加できる雰囲気がよいと思います。これからも続けていて下さい。
18. よい体験談を聞かせて頂きたいと思います。ミーティングの雰囲気があたたかいものとなることを望んでいます。
19. 関係者向けのミーティング開催を希望。より多くの体験談を聞く機会を増やせないでしょうか？
20. 出来るだけ現状維持。
21. まだ理解出来ません。
22. ステップセミナーの回数を増やして頂けると勉強になります。
23. 患者さんが断酒を継続し、少しでもその人らしさを発揮して生活していけるように、AAがその為の一つのよりどころになってくれれば良いと思います。
24. ミーティングの数を多くして貰いたい。

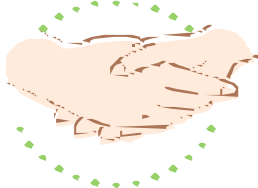
25. 病院の中ではどうしても患者さんをフォローできない部分があります。今後も退院後、入院中に限らず患者さんをあたたかく迎えて頂いて、繋がりが続いて頂きたいと思えます。
26. 小グループで地域にたくさん AA グループを作り、活動して欲しい。
27. 数 (回数) が更に増すと有り難い。
28. 自助グループの力が大きく影響しているので、今後も発展して欲しい。
29. 夜にあるミーティングが増えるといいですね。女性だけのミーティングはとても良いと思えます。続けて頂きたいです。もっとたくさんの方が活動されると継続しやすいかもしれませんね。
30. 運営には大変な面もあると思いますが、是非活動の火が絶えないよう各グループの方々に頑張って欲しいと思っています。
31. グループの数の分散化が出来ればよいと考えます。ありがとうございました。
32. 地域に多くのグループ (又はミーティング会場) を作って欲しい。
33. 私自身ももっと参加すべきと思えます。
34. 医療スタッフの言葉より AA メンバーの方の直接の言葉が何より先回復の手助けになっていると思えます。これからも AA に参加していきたいと思えます。ご協力お願いします。
35. 個人的な断酒だけでなく、社会的にも働きかけてもらえればと思えます。
36. メッセージを運び続けて下さい。
37. 今後も院内ミーティング等への参加でメッセージを酒害者に伝えて行って下さい。
38. 地元で AA が活動できる拠点が欲しい。
39. 地域にもっとミーティング場が増えたら、ENT 者に対するアプローチがしやすくなると思えます。
40. AA のミーティング場が増えたら良いと思う
41. もっと AA が増えて欲しい。(初めての方は遠いと感じづらさがあるかもしれない)
42. もっとミーティング場の数が増えたら良いと思っています。
43. 今のままで良いと思えます。
44. 入院中の方々にとっては (特に初めての方々) 断酒会か、AA か、どちらが自分に適しているか分からないのでは? (選択する場合) その為院内断酒会を通じて AA の紹介や現在の活動などを伝えて行って欲しい。
45. 他自助グループとの多くの交流をを望みます。
46. 毎回テーマについて話し合うことは良いと思えます。
47. 院内で AA の活動紹介を時々して頂きたい。病院職員への教育活動への協力もお願いしたい。
48. 広域から来院されてきますので退院後の訪問指導までは至っておりません。残念に思っておりますが、自主的にみえられる方については歓迎しておりますが、来院要請は致しておりません。AA メンバーの情報は大切ですよというより現実的に大変助かっております。
49. 自助グループの必要性、良さを本人が納得するまでには時間がかかりクリニックから働きかけても一度も参加されない方がいるのが現状である。依存症の方々のタイプも様々であり、やはり現在と昔では違うのか? 都会ではアルコール専門 HP から自助グループに無理につなげない所もあると聞いて、やはりそれは本当の回復に結びつかないのでは。当クリニックは忠実に三本柱を遂行している。AA のメンバーの方々の働きかけ、これからも宜しくお願いします。
50. 特に望むことはありませんが、個人的には一人でも多く自助グループに繋がればと思っています。
51. 近くにミーティング場がない。長崎の佐世保市、松浦市西彼町にミーティング場があればと思います。
52. 苦しんでいるアルコール依存症者は勿論のこと、機会あるたびに全ての人々に生き方のメッセージを運んで頂きたい。今日一日、ハイパーパワーのお考えのままに!
53. 退院後 AA に繋がった方に対するフォローは適切で素晴らしいと思えます (そう伝え聞いています) それ以外の方については把握できていません。他人との関係を築くことが希薄になっている世の中で、他人からの援助や支え合いといった関わりを避ける方が増えていて、自助グループも抵抗を感じる方が多くて、私たちスタッフも悪戦苦闘しています。自助グループでしか回復は不可能だと思っているので、私たちを進め続けていきたいと思っています。AA として新しい方や、女性などの少数派の人達、またスリップしてしまった人達も参加しやすい、参加してよいのだと思えるような運営を進めて頂きたいと願っています。ソーパー達は私達スタッフの希望であり、元気の源です。AA の益々のご発展を祈念致します。
54. ミーティングの雰囲気をも身近なものにして貰えればと思います。
55. 満足しております。活動を続けて欲しい。
56. 参加しづらい時がある (スタッフとして)
57. 参加してみて考えてみます。病院の外来 (DC) と自助グループ (AA) の違いを考えてみたいです。
58. メッセージにももう少し人数が来て欲しい。
59. AA の本質をまげないで、難解な言葉をもう少し分かりやすくして欲しい。地域的にアルコール依存症になる人は高年の人が多く、特にカタカナ言葉は分かりにくくて、なじめない。少し工夫して理解できるような言葉を使用して下さい。
60. 地域に点在して欲しい。栃木県内にもっと多く、特に県北方面のミーティング場があって欲しい。
61. 本人 病院 自助グループ 本人のやる気 (スポンサーシップ)
62. 今のところありません。
63. 個人個人で伝わり方が違うと思えますので現状で良いと思えます。只、もう少し強引さがあつた方が、年配の患者には説得力があるかなあ~と思えます。反対に若い患者にはしない方がいいでしょう。どちらにしてもメッセージは、ないよりはるほうが、私たちにとっても患者にとっても AA を知るきっかけになり良いことだと感じています。
64. 今より、より魅力ある AA になることを祈っています。
65. ゆるやかなスポンサーシップでよいので、やる気のある人を引っ張って欲しい。フェローシップが欠けているのでは? 断酒会に比べて盛り上がりが出ていませんか?
66. 細々とでもいいから、ずっと続くことを心より祈ってます。変わらない」と言うことが、どれ程のパワーが必要か想像しただけでも大変だ! と思えますが、その「変わらない」ことが、とても私たちや他のメンバーの力になってゆくのだと思えます。何年たっても、ひょっこり行ける私でありたいと思えます。これからも宜しくお願いします。
67. 一人でも多くの回復者、社会復帰者の出現を望みます。
68. メッセージの後などで、個人的に疑問に答えたりして欲しい。火曜会 (院内のアルコール・ミーティング) 等で、個別に働きかけて欲しい。
69. 「安定継続」アンケートが一方向的である。(何のためにおこなうのか、などがぬけたままで「おごり」を感じる) なぜ、面談者の個人名がいるのか「スタッフ」として対応している。
70. 病院内でなく、外部とのコミュニケーション (交流) もうまくいくと良いと思われる。

- 71.患者さんにAAについて知ってもらい、退院後に自助グループに繋がるきっかけとなればと思っています。
- 72.AAを良く知る人々よりAAに参加してまもないメンバーにアンケートされてみればどうでしょう 私はAAの不思議なところには慣れましたので。
- 73.ミーティング会場まで遠く、交通の便が悪いので、近くにミーティング会場が欲しい。
- 74.今まで通り宜しくお願いします。
- 75.参加をしてみてくださいまして、病院の外来(DC)と自助グループ(AA)の違いを考えてみたいです。
- 76.参加しづらい時がある。(スタッフとして)
- 77.満足しております。活動を続けて欲しい。
- 78.ミーティングの雰囲気身近なものにしてみたいでしょうか
- 79.いつもありがとうございます。これからも宜しくお願いします。継続して参加する方が、なかなかいないのが現状ですが、AAメンバー、グループの長いメッセージを希望している
- 80.(青森)県内のAAの交流が頻繁になれば、情報が統合されればもう少し変わるか。
- 81.話の内容については、なぜ止めるに至ったかを話して欲しい。飲まなくなった現在の話より、過去の体験をして欲しい。入院中に気づいてもらえる程度の話、ひびくメッセージを希望する
- 82.メッセージは5人~10人くらいがよい。以前より入院する人の平均年齢が上がっている。高齢化の人もいる。昼もミーティングがたくさんあれば。お話を伺っていて、抗酒剤はあくまで補助的なもので、自助グループに繋がることが重要と認識していらっしゃるのが伝わってきました。
- 83.退院後の患者さんとの関わり、外部に見える型。危機管理をどのようにしているのか(スポンサーシップand)
- 84.病院とAAのネットワークが必要かと思う AAでの使われている言葉を入院中の方に聞かれても説明できない。
- 85.ミーティング場を増やして欲しい。
- 86.ミーティング場を増やして貰いたい。(例 柏崎あたりに) AAネームに違和感を感じる。(8)の項目について、小冊子で説明があっても良いのではないかと。言葉として違和感を感じ、2・3回出て行かなくなる人がいるのではないかと。
- 87. AA日本、広報&病院施設フォーラムを近県で開催して欲しい。資料が欲しい(AAでやってはいけないこと、病院でしていただきたいこと) 密に知りたい(例:病院内でAAのミーティングをしてもらえないか?) (8)の項目について、小冊子で説明があっても良いのではないかと。
- 88. 危機に対しての介入(病院、スポンサー) (8)の項目について、小冊子で説明があっても良いのではないかと。

以上

### 【メッセージ先の病院での医療関係者へのアンケート集計 / 2003年4~9月実施】

この集計発表は、まだ編集中的のものであることをご確認ください。



### J S Oからのお知らせ

J S Oのスタッフの顔をご存知でしょうか? 私が飲まない一日を始めた時には3人のスタッフが業務されていた、といってもJ S Oの存在自体わからない頃で、どのような人がいるのかなど論外ではあった。数年してグループの役割としてJ S OへBOXをいただきに、献金を届けに行くようになって初めてその存在とスタッフの顔を拝見させてもらったのである。その時にお会いできた林さん、山本さんは退職され、今は小宮山さんだけになってしまった。その小宮山さんから今年6月での定年退職の依頼を受け取った。その意思は固く、また、体調などの理由もあり無理にお引止めをすることができなかった。日本のAAの歴史を支えてきた業務貢献は計り知れないもので、1980年代、1990年代とJ S Oの財政状態が今よりもずっと不安定のなかでご苦労されてきたことは、いくら感謝してもしきれないほどである。まだもう少し一緒に仕事をして、より多くの経験を分けてもらえることができると思っていたが、どうもこればかりは私の思い通りにはならないものである。最後にとお別れの言葉をお願いしたのだが、とてもシャイで謙虚なお人柄のため無理を聞いてはいただけなかった。代わりにでしゃばりの私が書かせていただく許可をもらった。

東京都とはいえかなり外れの方にお住まいがあつて、毎日の通勤はとても大変なのであるが、電車の事故、故障などの他は遅れることもなく長年の勤務を続けられた。J S Oに来られた方、電話で話された方、様々なイベントの中でご一緒された方など日本全国にたくさんおられると思う。どうぞ皆さんの暖かい拍手をお届けいただきたい。この日本ニューズレターがお手元に届く頃は、地元のミーティング会場でコーヒーの用意をされているのだろう。どこかできっと、優しい笑顔に出会い、元気な姿が見られると思う。その時にはぜひ「お疲れ様!」と声をかけてもらいたい。長い間の大変なサービス業務にもう一度大きな拍手を贈らせていただき、お別れの言葉にしたい。

「お疲れ様でした!これからどうぞよろしく」 野崎

### 小宮山さんの退職に伴う業務の引継ぎのお知らせ

代議員やミーティング会場の登録、BOXや在庫の管理等の業務は現在アルバイトをお願いしている水谷さんと野崎が作業手順を引き継いで差し障りのないように進めることになりました。

しばらくの間は随時ボランティア・アルバイトを当面する業務ごとに充ててゆくことでJ S O業務が、遅滞することなく行われるようにいたします。

電話の応対も水谷さんをお願いすることになりますので、J S Oへのご連絡は今まで以上になるのではと予想しております。

業務の継続には細心の注意を持ってあたるとは思いますが、不慣れのために各グループ、メンバーにご迷惑をおかけすることがあるかもしれません。

なにかございましたら、どうぞ遠慮なくお知らせいただくと共に、どうぞ暖かく見守っていただきますよう心からお願い申し上げます。

J S O

## AA日本ニューズレターNo. 106

編集・発行: AA日本ゼネラルサービスオフィス(J S O) 〒171-0014東京都豊島区池袋4-17-10土屋ビル4F

TEL:03-3590-5377 FAX:03-3590-5419 ホームページ: <http://www.cam.hi-ho.ne.jp/aa-jso/>